

17. ^{しもつけかいどう}下野街道（^{あいづなかかいどう}会津中街道・^{あいづにしかいどう}会津西街道）

選定箇所：山王峠（福島県南会津町）～大内宿（下郷町）～栃沢（会津美里町）、大峠～三斗小屋宿～板室（栃木県那須塩原市）、上三依、五十里湖～高原新田宿～藤原（日光市）

概要：会津西街道は奥州道中今市宿から会津若松城下をつなぐ街道で、福島県側では下野街道とも呼ばれる。山地を通過しているため難所が多く、江戸時代末期には栃久保新道と呼ばれる迂回路が開削された。主要街道として現在も利用されていることから改修が進んでいるが、今回追加する会津西街道は、迂回路の開削により、古道が残された箇所である。

会津中街道は天和3年（1683）に日光地震で通行不能になった会津西街道の代替道として元禄8年（1695）に開通した街道で、会津西街道が復旧した後もそのまま使用され続けていた。



会津美里町



会津中街道（三斗小屋宿）